

授業科目 構音障害演習

【担当教員名】 西尾正輝		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 ディサースリア（Dysarthria、運動障害性構音障害）の評価技法，治療・訓練技法について学ぶ。 治療については，成人言語障害学演習にて行う					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 標準ディサースリア検査（AMSD）を適切に実施する。 2. 検査結果を解釈し，治療プランを立案する。 3. 多様な治療プランを実施する。					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法	学習課題又は備考	担当教員
1	標準ディサースリア検査（AMSD）の概要		演習	西尾	
2	標準ディサースリア検査（AMSD）：一般的情報の収集		演習	西尾	
3	標準ディサースリア検査（AMSD）：発話の検査		演習	西尾	
4	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査①		演習	西尾	
5	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査②		演習	西尾	
6	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査③		演習	西尾	
7	標準ディサースリア検査（AMSD）：発声発語器官検査④		演習	西尾	
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞			
教科書 (必ず購入する書籍)		標準ディサースリア検査 西尾正輝 インテルナ出版 5700円 バイトブロックS（標準）サイズ 630円とハンドル945円			
参考書		Yorkston、他：運動性発話障害の臨床 インテルナ出版 5600			
その他の資料		随時配布			
【評価方法】 平常の学習状況 定期試験		【履修上の留意点】 演習技法を必ず復習して習得しておくこと			